

令和7年12月吉日発行

CS事務員 長井 朋子

12月9日(火)に新津第二中学校、結小学校、結幼稚園、荻川小学校の学校運営協議会委員が集まり、3校1園合同で「第3回学校運営協議会」が開催されました。

通常は各学校・園で開催されますが、新津第二中学校区では年に2回合同で行われています。

今回の会議では、いつにも増して学校、地域、保護者目線それからの想いやアイディアが出され意見交換がされました。以下にご報告いたします。

## ◇ 次第 ◇

- (1) 開会あいさつ
- (2) 協議
  - ①部活動地域展開について
  - ②新津第二中学校区の「目指す子どもの姿」について
  - ③働き方改革、地域・学校から双方に求めること

## ◇ 協議報告 ◇

### ①部活動地域展開について

新津第二中学校の長谷川校長より、部活動の今後の地域移行の流れについて説明いたしました。

- ◆ 10/30に生徒・児童経由で保護者に資料を配布し、11/17に説明会を実施した。(参加者は小学生保護者10数名、中学生保護者数名)。同じ内容を、Web上に配信中。
- ◆ 新潟市立中学校の約半数が、部活動をクラブ化している。3分の2が大会の後、活動停止する。  
新津第二中学校は、地域移行化を進行中。
- ◆ R8年度より、部活動は通年で平日のみとし、16:40に下校完了とする。休日は実施しない。
- ◆ R8年度は新入生の募集はするが、団体競技(バレーボール部)は募集しない。
- ◆ R9年度は、3年生の引退試合時期(夏頃)から、段階的に部活動を停止する。新入生の入部は停止する。
- ◆ R10年3月31日をもって、部活動を廃止する。放課後は、地域クラブの活動のみ。

**地域移行済みの部活**…陸上、野球、サッカー、男子バスケ、女子バスケ、吹奏楽

**地域移行する予定の部活**…美術、茶道、理科創作(三部まとめて活動予定)、バトミントン、剣道

**活動停止する予定の部活**…卓球、ソフトテニス、バレーボール、柔道

- ◆ これからのそれぞれの活動趣旨は、部活動→活動に親しむ。(=enjoy)  
地域クラブ活動 → 技術、技能の向上を目指す。
- ◆ 美術・茶道・理科創作部は、3つの部をまとめて「荻川文化クラブ」とし、地域か指導者を募り、地域化していく。(コミセン主導)
- ◆ 卓球・ソフトテニス・バレー・柔道部も、引き続き地域で指導者を探していく。指導者が見つかれば、地域移行し継続ができる。

## ②新津第二中学校区の「目指す子どもの姿」について

近年の合同運営協議会での熟議の結果、「二中区の目指す子ども像」として

目的意識をもち 他と協力しながら 主体的に未来を切り拓く たくましい子どもを設定していました。

しかしながら、地域や保護者に認知されていない現状と子どもたちに伝わりにくさが残るとし、

### みらいを創る子ども

を提案し、今後もさらなる熟議を重ねることとなりました。

以下、協議のまとめです。

- ◆ 若者に刺激を受けている一方、与えられていることが多い今、  
自分からやろうという、主体性が乏しいように感じている。「しゃかりき」と  
いう雰囲気をどう出せるか。
- ◆ 今の中学生は受け身が多い。人に助けを求められる人になってほしい。価値が認められて自信が  
ついていく。
- ◆ 「愛する」=「人を感動させる・人を喜ばせる」の方が子どもには伝わりやすいのではないか。それ  
が就きたい仕事につながっていくのでは。
- ◆ 未来をつくる子どもたちを、地域にどう浸透させていくかが課題。
- ◆ 子どもだけでなく、親(保護者)にも関心を持つてもらえるような周知が必要だと思う。
- ◆ 目指す子どもの方向性は概ねあってると思う。あとは、いかに周りに落とし込んでいくかだ。先生  
方にも周知し、授業などで取り上げてもいたい。
- ◆ 校歌の歌詞には、中学校の成り立ちや意味が隠されているように思う。目指す子どもの姿は、歌  
詞から取った方が目に付きやすく、意味をかみ碎いてキャッチーにしてみてはどうか。

二中グループ

- ◆ 子どもは、自分で描けるだろうか?  
身边に、もっと参加しやすいようにした方がいいのでは。  
保護者には、詳しいコンセプトをわかってもらう必要がある。
- ◆ 主体性は確かに必要。それを発揮するまでには何(手段)が必要か。
- ◆ 新潟市の教育振興基本計画=目指す教育の姿「にいがた学びのコンパス」とも合致している。
- ◆ 漢字が混合なのはどうなのか?わかりやすいか?補助の説明をつけてもいいのでは。
- ◆ 自己肯定感、自ら考え行動していく、具体的なその姿を発揮する場を学校・地域で提供していくとい  
いのではないか。

他グループ・まとめ

以上をふまえ、来年度の合同協議会(4月)を目途に合意形成を図ることになりました。

### ③働き方改革について

令和8年度には各園校は、地方教育行政の組織及運営に関する法律の一部改正により、働き方改革の取り組みについて、学校運営協議会で承認を求めるようになりました。

質の高い教育の実現に向けた授業改善に注力する環境をつくることを目的とし、地域総がかりで子どもの成長、教育ビジョンの実現に向けた取組を行うことになっています。

二中生徒の様子から、先生方の働き方について考えました。

#### 現状

- 概ね落ち着いて学校生活を送っている生徒が多い。
- 部活動時間は減っているが、満足度は下がっていない。
- 生徒へのアンケート結果によると、「学校が楽しい」と回答したのは約90%。
- 不登校・その傾向がある生徒は全体の8%おり、秋葉区内でも最多。

#### 課題

- 先生方の献身的なかかわりにより、平和が保たれている
- 生徒の困り感に寄り添う教師の放課後時間確保が生徒の満足度を維持している。
- 教職員の残業時間は減っているものの、業務内容はまだまだ多忙。(R4 調査)
- 社会情勢から心身ともに負担がかかっている。(療養休暇職員2名)

そんな現状を踏まえつつ、学校から地域に求めること、また地域から学校に求めることについて意見交換がされました。

◆現在のボランティアの仕組みとは別に、「学校応援団」を設立するの  
はどうか。対象は保護者だけでなく、地域にも向けて発信していきたい。

二中グループ

◆地域行事への子どもの参加を促してほしい。

◆学校・地域に子どもたちをどう絡ませるか。できること、できる発想を子どもたちに出してもう。  
例:二中フェス

◆学校を盛り上げることが、働き方改革になるのか?

◆地域の方が、学校の中に入ってきてもらうことが、子どもたちには親しみやすい。しかし、平日だと現役世代(子育て世代)には難しい。

◆地域教育コーディネーターは、原則複数人配置になっているが、二中は現在一人。しかし、誰でもいいわけではなく、信頼できる人が絶対条件。人選が難しい。

(結小学校・結幼稚園)

他グループ・まとめ

- ◆ 休み時間・登下校時の見守りをお願いしたい。
- ◆ 人材バンクをつくりたい。それぞれ窓口をつくり、コミ協に探してもらう。
- ◆ 幼稚園実施している満三歳時保育受け入れをもっと周知したい。回覧板の利用など。
- ◆ 各校でボランティアに困っているので、校区でまとめられたらいのでは。

### (荻川小学校)

- ◆ 地域の行事に、学校職員が参加するのは難しい。(働き方改革により定時 16:40まで)  
職員の負担や仕事量のバランスを調べて、取り組みを図っていく。
- ◆ 学校を会場として催してみては。
- ◆ 総合学習を通して、地域の方と協力し合えるのではないか。キャリア教育の講師人選。
- ◆ 大学生の学生ボランティアを活用してみることもできるのでは。

### (二中)

- ◆ 部活動の指導者、見守り、学習支援を地域の方に担ってほしい。特に放課後の見守り活動をできる方を探している。
- ◆ 二中フェスのような生徒の活躍の場を荻川まつりに作ってほしい。
- ◆ パートナーシップ事業の活用(ボランティア募集)、広報の活用(回覧板)
- ◆ 相互の遠慮があり、意思が伝えきれていないのではないか。

今回の委員会では学校の抱えている問題、地域に求めていることが数多く提示され、とても貴重な場であったと感じました。

保護者は子どもを通して、学校の様子・先生方の対応を垣間見ることはできますが、学校全体の様子はなかなか知りえることができません。地域の方はなおのこと、知る機会が少ないだろうと思います。学校の内情を知れることが、地域との関りを深めていく大きなカギになるのではないかと思いました。

報告の通り、各学校で求められているのは共通して「マンパワー」です。

少子化がすすみ、閉校になる学校が出てくる中、幸いなことに、荻川地区は人材にあふれた街です。学校だけでなく、地域全体も一緒に、二人三脚で子どもたちを導いてくれる存在となれれば、荻川地区の子どもたちの未来も輝くものになると思います。皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

お問い合わせ

TEL 0250-22-0741

新津第二中学校 教頭 澤田 栄三郎

